



地場産業

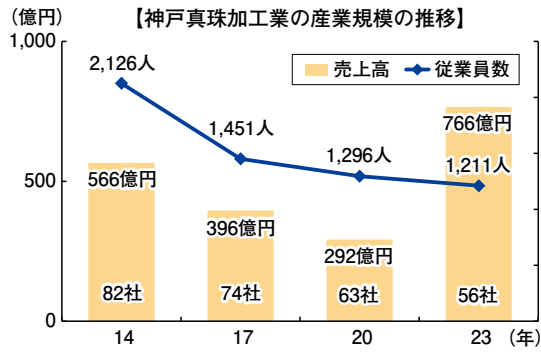
ひょうごのじばさん



真珠

▼中国で日本真珠の需要が高まる

世界で流通する真珠の約7割が神戸で加工されると言われている。民間信用調査会社によると、2014年では神戸の真珠加工業の売上高は566億円（企業数82社、従業員数2126人）であった。その後、新型コロナなどの影響で減少したが、コロナ明けの23年は中国需要の拡大などにより766億円（同56社、同1211人）となり14年比35%増加した。



(資料) 民間信用調査会社による

中国ではここ数年、高品質で見栄えがよい日本の真珠を複数の著名人が身につけたことで真珠ブームに火が付いた。これを機にファッションアイテムとして人気が高まり、特に上海などに住む富裕層向けを中心に販売が伸びている。日本政府は昨年12月に中国人に対して日本に滞在するビザ発給の緩和措置を発表した。今後、中国からの訪日客数が増加すれば日本で真珠を販売する機会が増え、真珠関連産業の盛り上がりが見込まれる。

スポーツ

▼兵庫県のゴルフ関連産業は全国上位

ゴルフ関連産業のうち、施設運営関連、および用品製造関連のデータを分析した。施設運営に関してゴルフ場とゴルフ練習場の合計をみると、兵庫県は施設数が327件、年間利用者数が998万5千人、年間売上金額が628億97百万円と、いずれも全国3位である。また、売上金額の中心性指数は1.61(7位)と1を超えており、近隣府県から顧客を取り込んでいる。用品製造に関して品目別統計より「ゴルフ・ホッケー用具」を製造している事業所をみると、兵庫県は全国最多の7事業所で、その出荷金額は全国2位の62億97百万円である。

ゴルフ関連産業

(×は計数秘匿)

都道府県	ゴルフ場+ゴルフ練習場						ゴルフ・ホッケー用具製造					
	施設数		年間利用者数		年間売上金額		売上金額の中心性指数		産出事業所数		出荷金額	
	2021.10現在 (件)	順位	2021年 (千人)	順位	2021年 (百万円)	順位	2021年	順位	2020年 (事業所)	順位	2020年 (百万円)	順位
千葉県	376	1	10,355	1	83,323	1	1.86	6	3	6	4,931	3
北海道	347	2	4,747	12	25,331	14	0.68	35	2	10	×	-
兵庫県	327	3	9,985	3	62,897	3	1.61	7	7	1	6,297	2
東京都	263	4	7,404	7	73,212	7	0.73	31	5	2	3,771	4
愛知県	247	5	10,049	2	41,213	6	0.77	28	3	6	182	8
神奈川県	245	6	9,516	4	48,759	4	0.74	29	1	16	×	-
埼玉県	243	7	7,846	6	45,056	5	0.86	24	4	4	16,105	1
茨城県	227	8	5,877	9	39,854	7	1.95	5	4	4	720	6
栃木県	224	9	4,828	11	35,907	9	2.60	2	1	16	×	-
大阪府	203	10	8,639	5	33,054	10	0.52	42	2	10	×	-
静岡県	175	11	5,722	10	38,425	8	1.48	9				
福岡県	174	12	6,112	8	31,720	11	0.87	23				
群馬県	166	13	3,223	17	18,124	15	1.31	12	2	10	×	-
岐阜県	157	14	4,320	13	30,616	12	2.17	3	2	10	×	-
長野県	137	15	2,478	18	17,108	16	1.17	13	3	6	16	9
全国	5,618		149,976		900,728				59		65,522	

資料：スポーツ庁「2021年度体育・スポーツ施設現況調査」、経済産業省「経済センサス活動調査」より作成
 ※売上金額の中心性指数 = 県の年間売上金額 ÷ 県の人口 ÷ 全国の年間売上金額 ÷ 全国の人口
 (1.0超…県外から来ている 1.0未満…県外へ行っている)

川町は「国産ゴルフアイアン製造の発祥地」と、どちらも全国に先駆けて始まったとされており、両産業の順位と関係があるのかもしれない。

洋家具

▼さまざまな施策を展開し、業界をPR

神戸は我が国洋家具の発祥地とされている。神戸市立博物館の所蔵品に「明治十八年七月十七日 兵庫福原町 天池徳兵衛」の銘が入った欧風の椅子があり、これは日本人が製作した現存する欧風家具のうち、最も古いものといわれている。

神戸洋家具は「親子3代までもつ」といわれ、その伝統的な風合いが阪神間の富裕層に支持されてきた。しかし、据え付け家具の台頭でニーズが減少するほか、室内デザインとの調整に手間がかかり敬遠される傾向にある。こういった需要の減少や環境変化を受け、業界各社は事業範囲を内装や据え付け家具の設計・施工にまで拡げていった。

この状況の下、組織を再編・強化した「兵庫県家具組合連合会」は、種々イベント等への取り組みを始めている。まず2022年に神戸市が行う「Door to KOBE」事業に参加した。洋家具職人製作の「ドア」を設置した神戸市内7カ所を巡りQRコードからWeb上のスタンプを集める催しで、抽選で神戸洋家具が当たるため盛況となった。また、昨年10月、同連合会は神戸洋家具を作る手法で製作した演台を神戸市に寄付、以後市長をはじめとする記者会見等で使用されている。このほか同連合会のホームページを刷新し、加盟する16社の取扱業務や提供する商品・サービスと各社のURL、メールアドレスを掲載するなど、神戸洋家具のPRやビジネスの拡大に取り組んでいる。